

一級河川太田川水系府中大川における基準水位の変更について

1 要旨・目的

一級河川太田川水系府中大川の水位周知区間については、大須水位観測所の水位を基に2区間（下流区間、温品・上温品学区区間）においてそれぞれ基準水位を設定していたが、このたび温品・上温品学区区間に水位計を新設し、新たな水位周知区間を設け、基準水位を設定し運用する。

2 現状・背景

洪水により重大な損害が生じるおそれのある河川については、住民の適切な避難行動や市町の迅速な水防活動を支援するため、61河川85水位観測所において氾濫危険水位等の基準水位を定め、その水位到達情報を住民や関係機関に周知している。

一級河川太田川水系府中大川の水位周知区間は、広島市と府中町に跨いでいることから、それぞれの市町が避難情報発令を判断することを考慮し、温品・上温品学区区間において下流区間とは別に、地域限定の基準水位を設定し運用している。

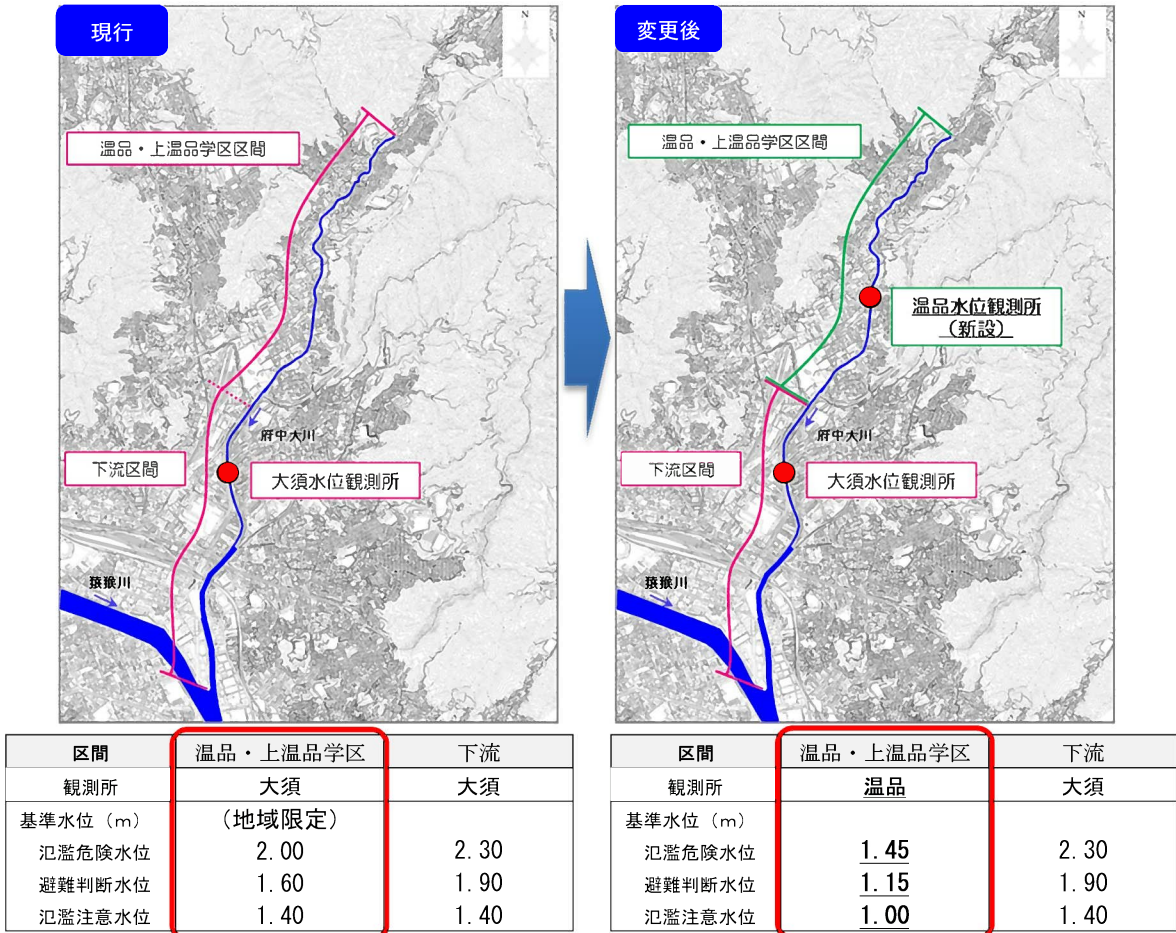
3 概要

(1) 対象者





県民（一級河川太田川水系府中大川氾濫域）

(2) 事業内容（実施内容）

新設した温品水位観測所に基準水位を設定し、受け持ち区間を温品・上温品学区区間とする。



(3) スケジュール

項目	主体	4月	5月	6月	7月以降	備考
運用	県					6月8日運用開始
防災情報システム改修	県					
	市					
地元説明等	県・市					町内会回覧等 必要に応じて説明会実施

(4) 予算（補助事業・単県）

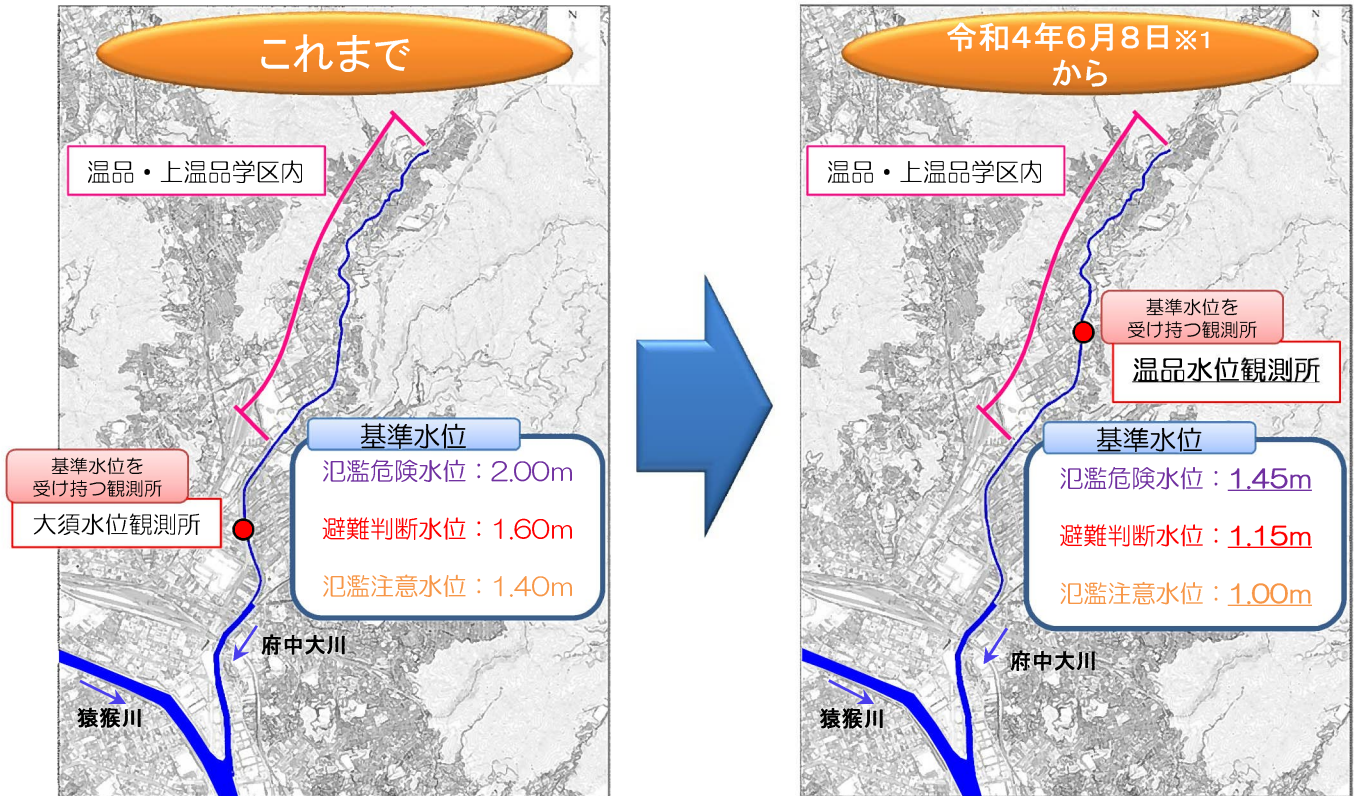
—

(5) 今後の対応

基準水位の意味や避難行動のタイミングなどについて、資料を作成し、町内会を通じた配布やホームページへの公表、地元要請に応じて説明会を実施する等、丁寧に住民へ周知する。

温品・上温品学区内における 府中大川の基準水位が変わります

温品・上温品学区内の基準水位を受け持つ観測所が、府中町にある大須水位観測所から、温品小学校付近にある温品水位観測所になります。これに合わせて、基準水位の数値も温品水位観測所に合ったものに設定しなおします。

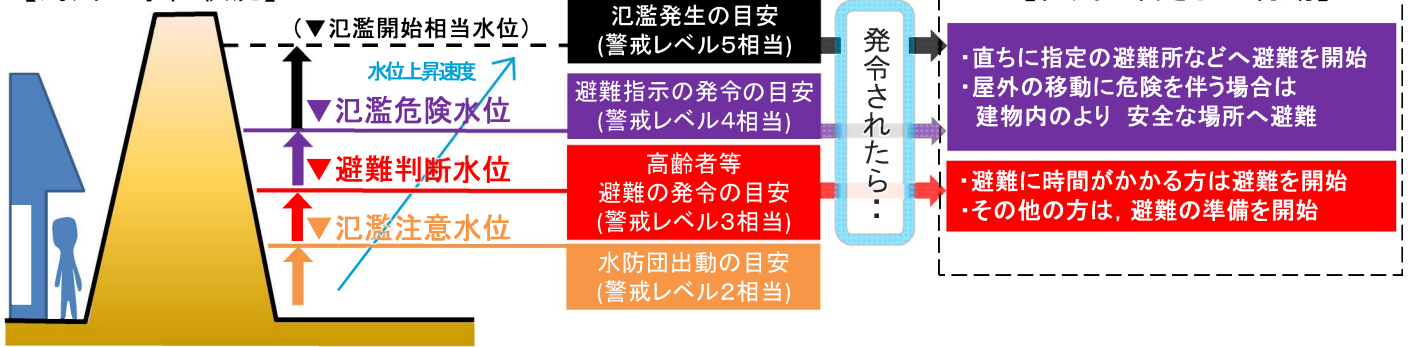


※1：当日の気象状況等によって変わることがあります

〈基準水位とは…〉

- 河川の水位には、洪水時に避難指示発令などの判断の目安となる水位が設定されています。
- この水位は、河川が溢れ始めるまでに避難が完了できるように、避難に要する時間などを考慮して設定しています。

【河川の水位状況】



察知 しよう

■ 「広島県河川防災情報システム」「洪水ポータルひろしま」から、水位・雨量の観測情報や洪水予報、レーダー雨量などを確認することができます。

■ 防災情報メールやテレビからも、避難指示などの緊急情報などを入手できます。積極的に情報を収集しましょう。

【問合せ先】

- 広島県西部建設事務所 事業調整特別班 電話082-250-8151 (代表)
- 広島市 危機管理室災害予防課 電話082-504-2664

広島県河川防災
情報システム
(温品水位観測所)

